

事業名	成人学習事業 市民ゼミナール				
予算	歳入予算	歳入実績	歳出予算	歳出実績	
令和2年度			報償費158,400 委託料69,300 使用料及び賃借料9,000	報償費138,600 委託料0 使用料及び賃借料0	
令和3年度			報償費158,400 委託料121,000 使用料及び賃借料9,000	報償費158,400 委託料0 使用料及び賃借料0	
事業の位置付け	根拠法	社会教育法、狛江市立公民館条例、狛江市立公民館条例施行規則			
	市の基本計画	狛江市前期基本計画 まちの姿6「生涯を通じて学び、歴史が身近に感じられるまち」 施策6-①「地域における学びの充実」方向性2「生涯を通じた学びの実現」 第3期狛江市教育振興基本計画 基本方針（4）生涯を通じた学びの充実 ①学びの環境づくり「地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。」			
事業目的	生活や文化など、身近な暮らしの課題に焦点をあて、市民が個人で考えている、狛江市の今後について意見交換を行う。	持続可能な開発目標 (SDGs)			
事業内容	開催頻度	年間8回（土曜日開催） ※新型コロナウイルス感染拡大による休館の影響を受け、令和2年度は7回			
	新規・継続	継続	実施主体	市	
	実施対象	市民	参加者数	延べ84人	
事業評価 ＜評価視点＞	評価項目	評価理由		評価	
	＜周知＞ 市民に周知されているか	広報こまえ8月1日号（前半4回分）と11月15日号（後半4回分）、チラシ・ポスター、教育委員会ホームページでの周知を行い、参加者は定員に達した。		公民館 A	公運審 A
				全体 A	
	＜環境＞ 事業の実施に伴い、人員、設備、衛生面等は適切であるか	講座室（定員40名の部屋）で、講師1名、参加者十数名に対し、8台の机を口の字型にして実施した。講師用はマイクを設置したが、参加者から意見を発表する際には一部の参加者にとって少し聞こえづらい部分もあった。		公民館 B	公運審 B
				全体 B	
	＜満足度＞ 参加者にとって満足のいく内容であったか 利用者のニーズを反映できているか	毎年度テーマを変えているが、継続して参加している方も多い。テーマの選定にあたっては、前年度のゼミナール参加者からの意見を踏まえながら講師と調整を行っている。		公民館 B	公運審 B
全体 B					
＜達成度＞ 公民館が目的を達成できたか 市の課題解決に役立っているか	令和3年度のテーマは「狛江におけるSDGs(持続可能な開発目標)～狛江でSDGsで何をする、どう変える～」で、年度ごとに地域の課題について検討を行っている。		公民館 A	公運審 A	
			全体 A		
＜学び＞ 市民の学びの場として貢献できているか 生涯を通じて学びを提供できているか	毎年その時々の中身の身近なテーマでゼミナールを行っており、講師から話を聞いただけでなく、参加者一人一人が自分の考えを発表したり、お互いに学び合うことのできる場となっている。		公民館 A	公運審 A	
			全体 A		
今後の課題	▼高齢な参加者で、音が聞こえづらい方もいらした。引き続き新型コロナの対策を取りながらも、マイク等の機材を工夫して、すべての方がスムーズに参加できる方法を検討する必要がある。 ▼新型コロナの影響に伴う「中央公民館のつどい」の中止により、ゼミナール内で検討した結果を発表する場がなかった。ゼミナールの成果物を教育委員会HPで掲載する等の代替策を検討する必要がある。 ▼参加者の選定方法に関して、「先着順」の場合、新規申込者が減り、メンバーが固定化してしまう恐れがあるため、次回以降は「多数抽選」も視野に入れた選定方法を設ける必要がある。				
総合評価	▼土曜日以外であれば、参加できる方もいるかもしれないので、そういった実施日についてのニーズ調査もできるとよい。また、「ゼミナール」という言葉に聞き慣れない方のためにも、周知する際はこういった内容で事業が実施されているのかについても案内していただきたい。 ▼毎年継続して参加する方も多いため、ニーズのある事業であることが伺える。ただし、参加者の固定化や高齢化が見られるため、その時代に適したテーマ選定や新規の方にも参加してもらえるようなテーマ選定、また募集方法や講師の変更等も踏まえた形で、改めて事業について見直し・改善を図っていただきたい。				